

活動 街頭にて被災者支援の活動を応援

名古屋駅前にて『イタリア中部地震と東北・北海道の台風被災者を支援する愛知県民の会』の皆さんと一緒に義援金募金を呼び掛けました。

多くの皆様がわざわざ足を止めてくださり、義援金募金にご参加いただきました。

日本赤十字社を通じて被災地に届けられる予定です。

皆さんご協力いただき本当にありがとうございました。



▲救援募金

活動 小幡小学校前の歩道を修繕

小幡小学校の西側にある歩道の半分が側溝にフタを掛けた構造になっていて、そのフタを開ける手掛かり部が大きく、歩行者の足や手押し車のタイヤがはまってしまうなど歩行者にとって「厄介な穴」となっていました。

相談者から穴をふさいでほしいとの陳情を受け、土木事務所と協議したところ施工も古く、フタを外すことも今後無いことが判明し、早速穴をふさぐよう依頼しました。

施工方法などを検討し工事完了まで時間が掛かりましたが、写真のとおり完了後は、誰もが安心して移動できる歩道になりました。



▲小幡小



公明党名古屋市議員 こんばのぶお 活動報告レポート

こんばネット通信

平成28年秋号



市会

平成29年度予算編成に対する要望書を市長に提出

公明党名古屋市議員団から平成29年度予算編成に対する要望書を市長に対し提出致しました。

冒頭、市議団を代表して挨拶。これまで福祉、子育て、文化、教育、防災・減災対策など、多様な視点から地域に根を張り市民の皆様の声をしっかりと受け止めることに徹し、577項目の市民からの要望としてまとめ上げた事を報告。

市長には『真の庶民の声』として正面から受け止めていただき、実現に向けた責任ある行動を示していただきたいと強く要望致しました。



こんばのぶお

検索

市政に関する情報などを発信しています。
こんばのぶお公式ウェブサイト

<http://konba.net/>



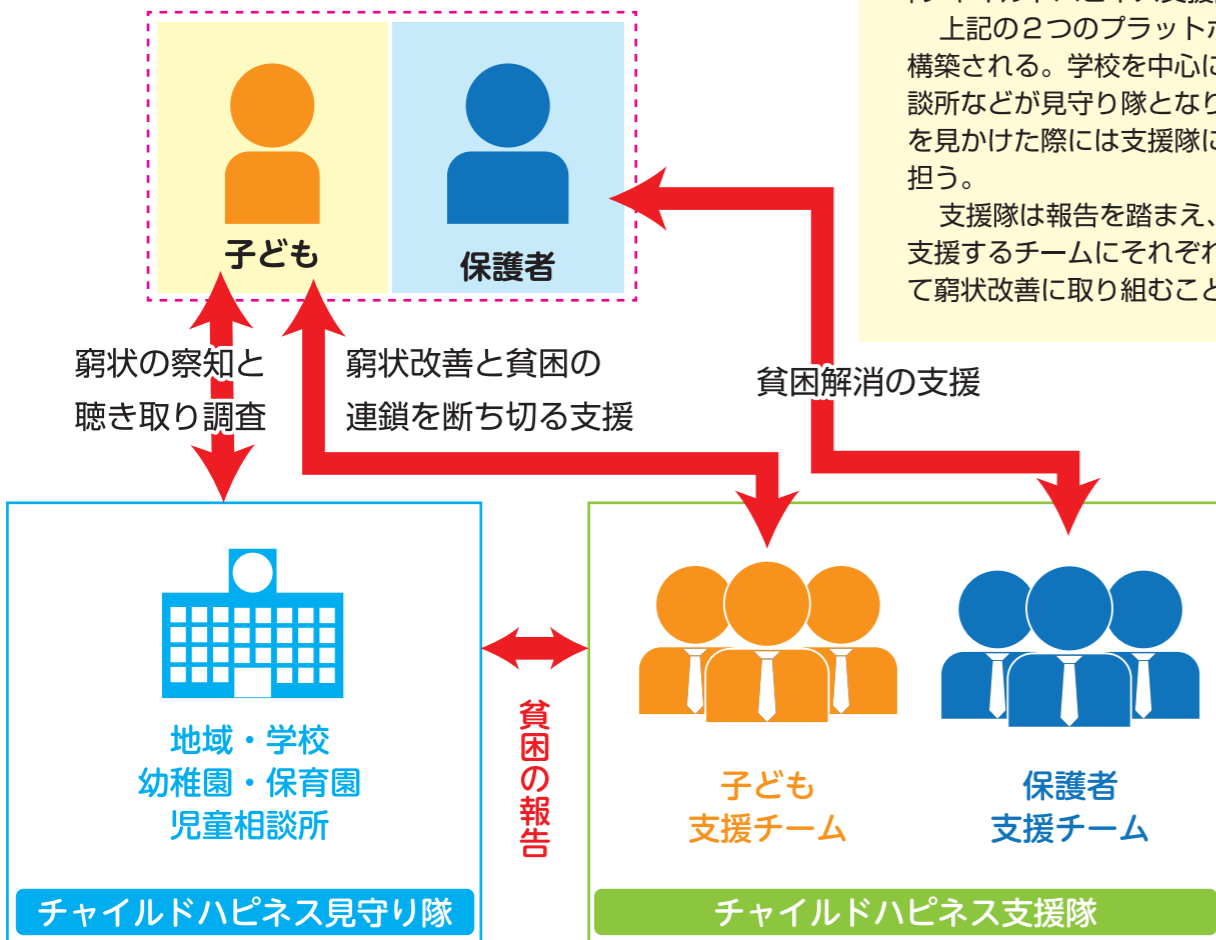


チャイルドハピネス 支援システムの提言

子どもの貧困連鎖を断ち切る為に！

公明党名古屋市議団では、平均的な世帯所得の半分にも満たない家庭で暮らす18歳未満の子供割合が6人に1人に上っているとの厚生労働省の調査を紹介。その上で「子供は自らの力では自分の置かれた環境を変えることができない」として、「子供の貧困は人権の重大な侵害であり、人道法の問題だ」と指摘しました。さらに、こうした貧困の連鎖を断ち切るためには、困窮している子どもを見つけ、一貫して対応するための仕組み「チャイルドハピネス支援システム」を構築するべきだと強調しました。

チャイルドハピネス支援システム



子ども貧困対策プラットフォーム①

子ども貧困対策プラットフォーム②

- ①子どもの窮状を察知し、聞き取り調査等を行う「チャイルドハピネス見守り隊」
- ②実際に窮状の原因に対し、対策実行する「チャイルドハピネス支援隊」

上記の2つのプラットフォーム（基盤）で構築される。学校を中心に、地域、児童相談所などが見守り隊となり、子どもの貧困を見かけた際には支援隊に報告する役割を担う。

支援隊は報告を踏まえ、子供と保護者を支援するチームにそれぞれわかれ、連携して窮状改善に取り組むこととしている



生活困窮者の自立支援の サポートセンターを調査

私のところに日々寄せられるご相談で最も多いのが生活にかかわる内容です。

これまではご相談にその都度対応に走り行政窓口をご案内することで解決する事も多かったのですが、家賃が払えず悩んでいる、子どもがひきこもっている。仕事が長続きしない、生活が安定せず将来が不安などなど行政窓口では対応しきれないご相談も増加しています。

これらの『悩み』の相談を一か所で受けてくれる「名古屋市仕事・暮らし・自立サポートセンター」を調査してきました。

北区大曾根4丁目交差点角にあるサポートセンターは、名古屋市が開設し社会福祉法人とNPO法人が運営しています。

どんな悩みでも受け止めてくれ、相談者に寄り添いながら解決に向けてじっくりと対応してくれるのが特徴です。

またセンター隣りに併設された喫茶店では、就業経験がなかった人が働く喜びを感じることができる体験の場としても利用されています。



▲大曾根サポートセンター

大曾根：北区大曾根4丁目 17-23 イトピア大曾根 1階
TEL052-508-9611

名 駅：中村区名駅南 1丁目 5-17 ネットプラザ柳橋ビル 3階
TEL052-446-7333

金 山：熱田区新尾頭 2丁目 2-7 富春ビル 4階
TEL052-684-8131